

地域と地球の環境を

守りはぐくむまちをめざして

—めぐろからの挑戦—



目黒区では、「環境と共生する」ことを「目黒区基本構想」及び「目黒区基本計画」の基本理念とし、環境施策への取組みを積極的に進めてまいりました。しかし、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故などにより、地球温暖化対策を取り巻く状況は大きく変化しています。また、近年の降雨量の変化や異常気象の多発、生態系の変化など、暮らしへの影響は大きくなり、区民・事業者の皆様と協力・連携して環境への負荷の少ない社会づくりをすることが、より一層求められています。

こうした背景のもと、2013（平成25）年度には、つぎの4つの計画について策定や改定を行いました。

まず、地球温暖化対策を推進するため、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」を改定し、区民・事業者・区が一体となって温室効果ガスを削減するための目標や具体的な取組みについて、「第二次計画」として決めました。

併せて「暮らしに最も身近な基礎自治体」であり、区内における大規模な事業所のひとつとして、率先垂範して低炭素社会・循環型社会の実現に向けた取組みを行うため、地球温暖化対策の推進に関する法律で定められている地方公共団体実行計画である「めぐろエコ・プラン」を改定し、区の事務事業に伴い発生する温室効果ガスの排出抑制等の目標を決めました。

また、計画的に環境学習分野の事業を進行管理するため、前計画（環境学習推進計画）に代えて「目黒区環境学習実行プラン」を策定しました。

さらに、2008（平成20）年に生物多様性基本法が制定され、地方自治体での「生物多様性地域戦略」の策定が努力義務化されたことに伴い、率先して生物多様性の保全や持続可能な利用に向けた取組みを行うため、目黒区生物多様性地域戦略「野鳥のすめるまちづくり計画」を策定しました。

この報告書は、環境基本計画に基づき、2013（平成25）年度に実施した施策の報告書として作成しました。多くの方に読んでいただけるよう、概要版の発行やホームページへの掲載を行っておりますので、併せてご活用ください。

今後とも、目黒区の環境問題への取組みについて、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

2014（平成26）年9月

目黒区長 青木英二

2014(平成26)年度版めぐろの環境(環境報告書)

目次

はじめに

1 編集方針.....	1
2 目黒区環境基本計画.....	1
3 本編の見方.....	4

第1章 2013(平成25)年度の主な取組み

1 地球温暖化・省エネルギー対策の推進.....	5
2 みどりに関する多様な取組み.....	6
3 環境学習の推進.....	8
4 循環型社会の形成に向けて.....	9

第2章 環境保全施策の推進

基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ.....	10
1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす.....	10
1-2 みどりあふれるまちで暮らす.....	21
1-3 安らぎのあるまちをつくる.....	27
基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ.....	30
2-1 ものを大切にす地域社会をめざす.....	30
2-2 地球にやさしい地域社会をつくる.....	37
基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり.....	42
3-1 人を育てて行動を促す.....	42
3-2 人のつながりを育てる.....	49

第3章 重点プロジェクトの実施

1 地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり.....	54
2 節電からはじめるライフスタイルの転換.....	56
3 地球温暖化対策の推進.....	57

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン).....	60
2013(平成25)年度の実施結果.....	61
2013(平成25)年度の実施結果に対する評価.....	64

資料編

アンケート調査の概要.....	66
アンケート調査のまとめ.....	67
アンケート調査の結果.....	68
環境に関するアンケート調査票.....	97
環境行政をめぐる動き.....	103
環境保全の施策に要した主な経費.....	105

1 編集方針

目黒区では、区の環境保全の基本的考え方を明らかにし、環境施策を総合的かつ計画的に進めることを目的として、2000(平成12)年12月に「目黒区環境基本条例」を制定しました。この条例に基づき、2002(平成14)年7月に「目黒区環境基本計画」を策定し、区の環境に関する長期的目標とその実現に向けた施策の基本方針等を定めました。また、2007(平成19)年7月と2012(平成24)年3月に改定を行いました。

「めぐろの環境(環境報告書)」は、「目黒区環境基本条例」第9条の規定に基づき、環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況及び評価等を明らかにするもので、毎年作成しています。

2014(平成26)年度版の「めぐろの環境(環境報告書)」は、2012(平成24)年3月に改定した目黒区環境基本計画の体系に基づき、2013(平成25)年度に実施した環境保全施策のほか、2014(平成26)年度に実施する環境保全施策を掲載します。このほか、目黒区環境マネジメントシステムの取組み実績も掲載しています。

2 目黒区環境基本計画

環境に関する長期目標、その実現に向けた施策の方向、行動の指針、計画推進のしくみ等を明らかにすることを目的に、2002(平成14)年7月に策定しました。その後、地球温暖化の防止や環境学習の推進等の新しい課題に対応するため2007(平成19)年7月に改定しました。

この間、国では温室効果ガス削減強化の取組みや、生物の多様性を確保し、そのもたらす恵沢を将来にわたり享受できることを目的とした「生物多様性基本法」が制定されるなど、環境行政を取り巻く状況に大きな変化がありました。加えて、2011(平成23)年3月の東日本大震災の発生により安心安全への区民の関心が高まるとともに、放射性物質対策や節電への啓発、再生可能エネルギー¹の普及など、環境負荷低減への取組みがより一層求められるようになりました。

このような社会経済状況の中、新たな課題に柔軟に対応していくため、2012(平成24)年3月に再び改定を行いました。



2012
(平成24)年
計画改定時の
ポイント

- 施策体系の見直しを行いました
- 計画の達成状況を把握するための指標や数値目標を導入しました
- 区民、事業者との協働による環境保全活動を推進するための計画としました

¹ 再生可能エネルギー：資源が非枯渇性の自然現象から得られるエネルギーのことです。代表的なものに、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、小規模水力発電、バイオマスエネルギー等があります。

● 目指すべき環境像

区の長期計画である「目黒区基本構想」（2000(平成12)年10月策定)で、「環境と共生する」ことを基本理念の1つとしています。さらに、環境分野に関連する基本目標として「環境に配慮した安全で快適なまち」を掲げています。

この目標を踏まえ、「地域と地球の環境を守りはぐくむまち—めぐろからの挑戦—」を目指すべき環境像として定め、環境面からのまちづくりの推進を図ります。

● 対象範囲

本報告書は、環境基本計画に基づき、次の分野を対象範囲としています。

環境分野	施策の対象となる環境項目
自然環境	水辺、みどり、生物等
生活環境	大気、水、土壌、地盤、騒音、振動、臭い、化学物質（放射性物質含む）、水循環、廃棄物・資源、日照阻害、電波障害等
都市環境	交通、道路、公園、緑地、歴史的・文化的資源、市街地整備等
地球環境	地球温暖化、生物多様性、その他地球環境問題（オゾン層の破壊、森林の減少、野生生物の減少、天然資源の枯渇等）

● 基本目標

目指すべき環境像「地域と地球の環境を守りはぐくむまち」の実現に向け、次の3つの基本目標を中心に組みます。

- ・基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ
- ・基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ
- ・基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり



● 重点プロジェクト

目黒区の地域特性や環境の課題等を踏まえ、計画の目標を達成する上で、優先して展開するテーマを重点プロジェクトとして位置づけ、推進していきます。



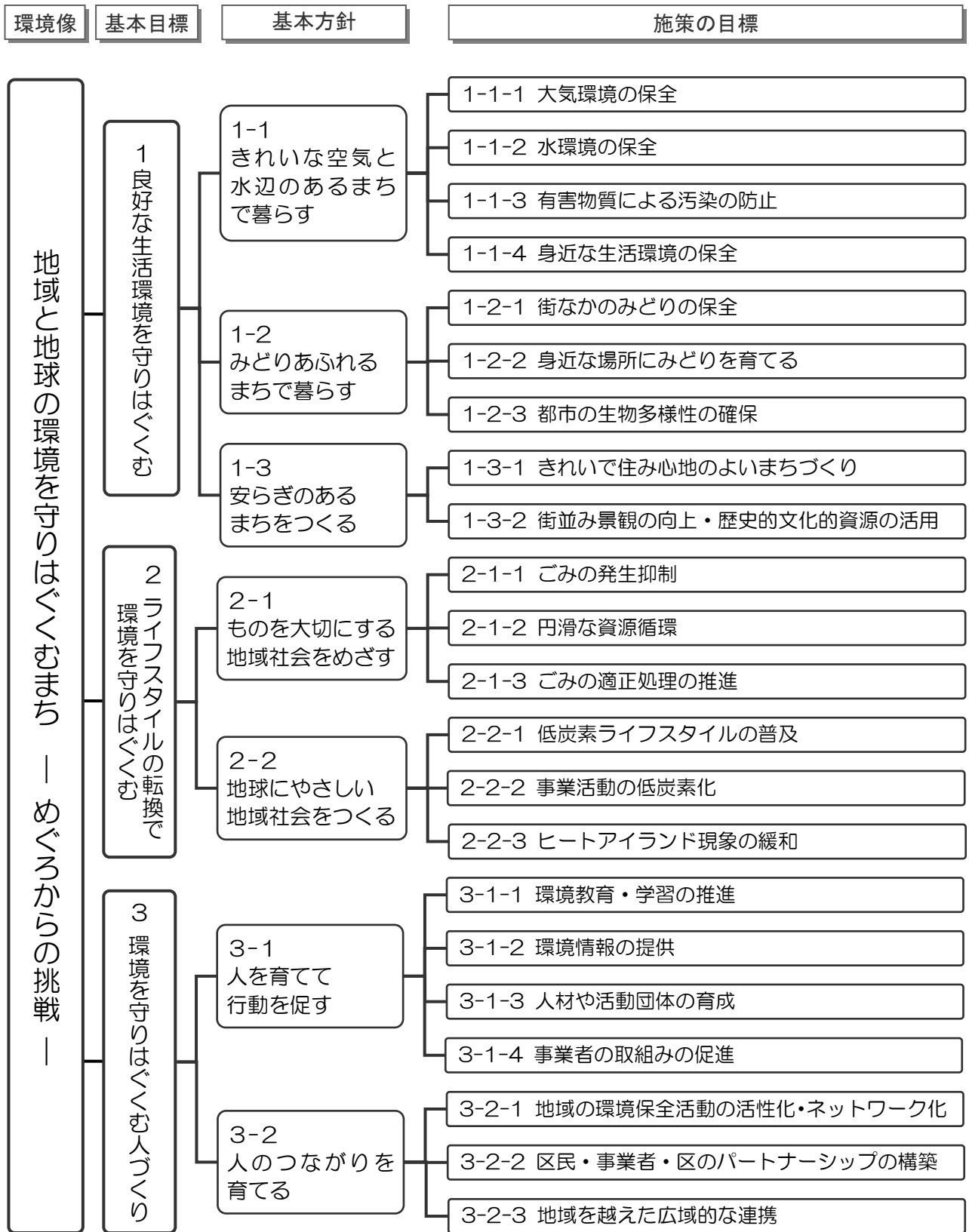
区の重点プロジェクト

- テーマ1 地形・地勢を意識した風とみどりと生き物のネットワークづくり
- テーマ2 節電からはじめるライフスタイルの転換
- テーマ3 地球温暖化対策の推進

● 目黒区環境基本計画の体系

目指すべき環境像及び基本目標を踏まえた環境保全施策の体系を下図に示します。

目黒区環境基本計画の体系図



3 本編の見方

(1) 指標の評価について

目黒区環境基本計画の進行管理を行うため、施策の基本方針ごとに指標を設け、指標について評価をしています。

見本

<指標の評価>

☺: 目標値を達成 ☹: 目標値に近づいている ☹☹: 目標値に近づいていない -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2013 (平成25) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
みどりの量						
緑被率※1		15	17.1%	-	20% 2015 (平成27)年度	-
公園・ひろば等の面積		22	49.01ha	50.05ha	52ha	☹
みどりの質						
公園等で活動を行う登録 団体数※2		22	91団体	106団体	100団体	☺
指標在来生物種の分布率		22	37%	42%	50%	☹
みどりのまちなみ助成緑化面積・延長(累計値)						
接道		22	9,581.12m	10,073.59m	増加	☺
屋上		22	3,726.55m ²	4,457.63m ²		
壁面		22	414.67m ²	476.85m ²		
いきもの気象台情報提供数		22	1,695件	3,042件	増加	☺
いきもの発見隊実施回数 /参加人数		22	2回/134人	2回/83人	継続	☺
野鳥の年間確認種数※3		22	52種	52種	維持	☺

※1 緑被率：一定地域の中で上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合。水面や広場を含まない
純粋な植物の緑が対象。

※2 公園活動登録団体とグリーンクラブ

※3 1~12月での集計

①：指標項目を掲載し、太線より上部は環境指標、下部は取組指標を示しています。累計で評価する項目は、指標項目末尾に「(累計値)」と表示しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

- ・環境指標：数値目標を設定している指標
- ・取組指標：数値目標を設定せず、目指す方向を設定している指標

②：表中の補足説明を記載しています。

③：区としての自己評価を顔マークで記載しています。環境指標は顔マークで3段階、取組指標は顔マークで2段階の評価をしています。

<指標の評価の見方>

評価	評価内容	
	環境指標	取組指標
☺	目標値を達成している	目指す方向を達成している
☹	目標値を達成していないが、 目標値に近づいている	目指す方向を達成していない
☹☹	目標値を達成しておらず、 目標値に近づいていない	
-	現状値等の把握ができない	

(2) コラム等について

本編中にコラムやトピックスを掲載し、グラフや表の補足説明には各種キャラクターを使用しています。また区ホームページ等でより詳細な内容を閲覧できる箇所には、WEBマークを記載しています。